

Withコロナでどうやって 団体活動続ける??

コロナ禍でこれまでの活動を続けられなくなるなど、団体（サークル）の活動を進めていくのが難しくなっていますね。そんな中、団体の活動をどうやって続けていくのか。今できること、今だからこそできることを考えて、新たな企画、活動を作るのか。どのように作っていくのか。一緒に考えてみましょう！

＼こんな方に特にオススメ／

- 団体の活動を進める立場の方。役員。幹部学年の方。
- もうすぐ引継ぎ予定の方。
- 団体の活動を活性化したい... と感じている方！

今できることを考え、団体の活動を活性化しよう！

日時：12/15(火)18:30～20:30

対象：ボランティア活動をしている同志社大学生、
同志社ボランティアネットワーク(V-NET)加盟団体
クラブ・サークルの運営メンバー など
上記以外の方も歓迎です！

定員：30名(先着順、定員に達し次第×切)

開催方法：オンライン (Zoom)

申込：ボランティア支援室HPもしくは
右記QRコードのフォームよりお申し込みください。

×切：12/10 (木) 17:00

問合せ：ボランティア支援室(京田辺)
Tel 0774-65-6777 Mail jt-volun@mail.doshisha.ac.jp

講師 岡本 卓也 氏

(京都市東山いきいき市民活動センター長)

【プロフィール】

1983年生まれ。大学在学中、多様な分野でのボランティア活動に参画。ボランティアには人を成長に導く力があると感じ、大学ボランティアセンターにてボランティアコーディネーターとして学生のボランティア活動の推進に努める。
2009年(特活)きょうとNPOセンター入職。ボランティアコーディネーターやNPO法人設立・運営相談等を担当。また、大学生の活動拠点「学生Place+」の立ち上げ・運営に携わる。
2013年より、市民が主体的にまちづくりに取り組む「京都市未来まちづくり100人委員会」の運営本部及び委員のコーディネーターやファシリテーションを担当。
2015年4月より現職(有限責任事業組合まちとしごと総合研究所組合員)。
100人委員会の運営に加え、まちづくり・地域づくりの現場でのファシリテーターとして従事している。
2016年4月より、京都動物愛護センターにてボランティアコーディネーター業務を担当。
2016年6月より、京都市東山いきいき市民活動センターのセンター長に就任し、公共施設を軸にした地域づくりに取り組んでいる。



申込用QR